新型コロナウイルスに対する
リスク認知、感情、行動の変化

安藤ゼミ　中島朱理

目次

第1章　序論

第1節　問題関心

第2節　先行研究

第3節　本研究の目的

第2章　本調査

第1節　目的

第2節　方法

第3節　結果

第4節　考察

第3章　総括

引用文献

参考文献

付録1　本調査質問紙（第1回）

付録2　本調査質問紙（第2回、第3回）

問題関心

◆新型コロナウイルスによる感染症が世界中に広まっている

◆感染拡大を最小限に抑えるためには、若者も含め各個人がリスクを適切に認知することが求められる

➡ 大学生の新型コロナウイルスに対するリスク認知に着目

研究の目的

◆大学生の新型コロナウイルスに対するリスク認知の実情および感情、行動の変化を明らかにする

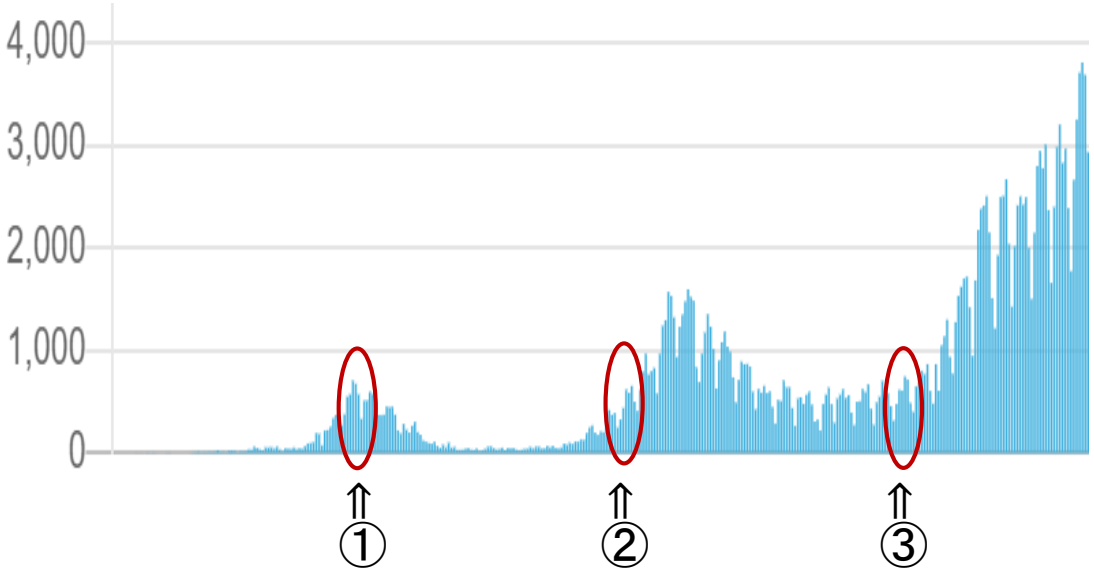
調査概要

【調査期間】

第１回調査：2020年4月6日～4月12日

第２回調査：2020年7月9日～7月20日

第３回調査：2020年10月10日～10月25日



（厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/covid19/kokunainohasseijoukyou.html）

【対象者】

大学生

（有効回答数　第1回調査124　第２回調査89　第３回調査72　全調査51）

調査概要

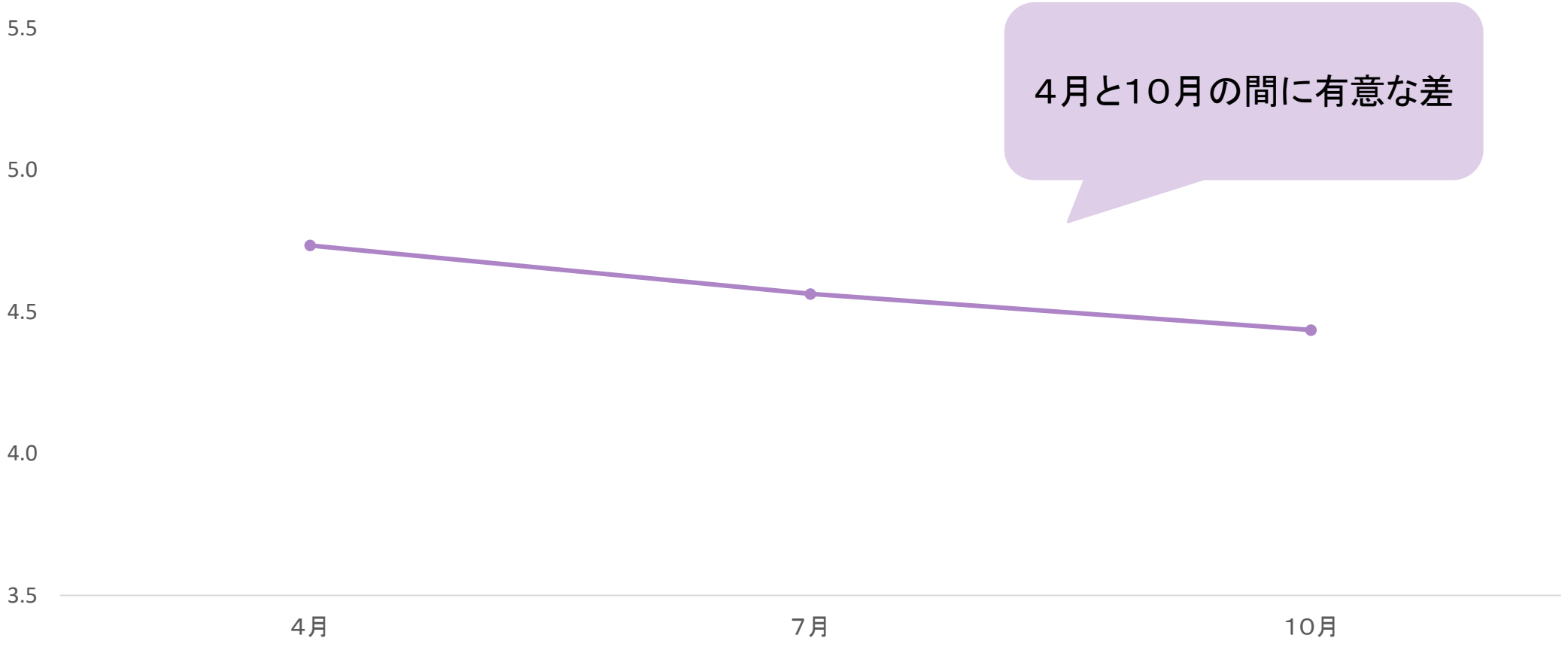
【調査方法】

質問紙調査（Googleフォーム）

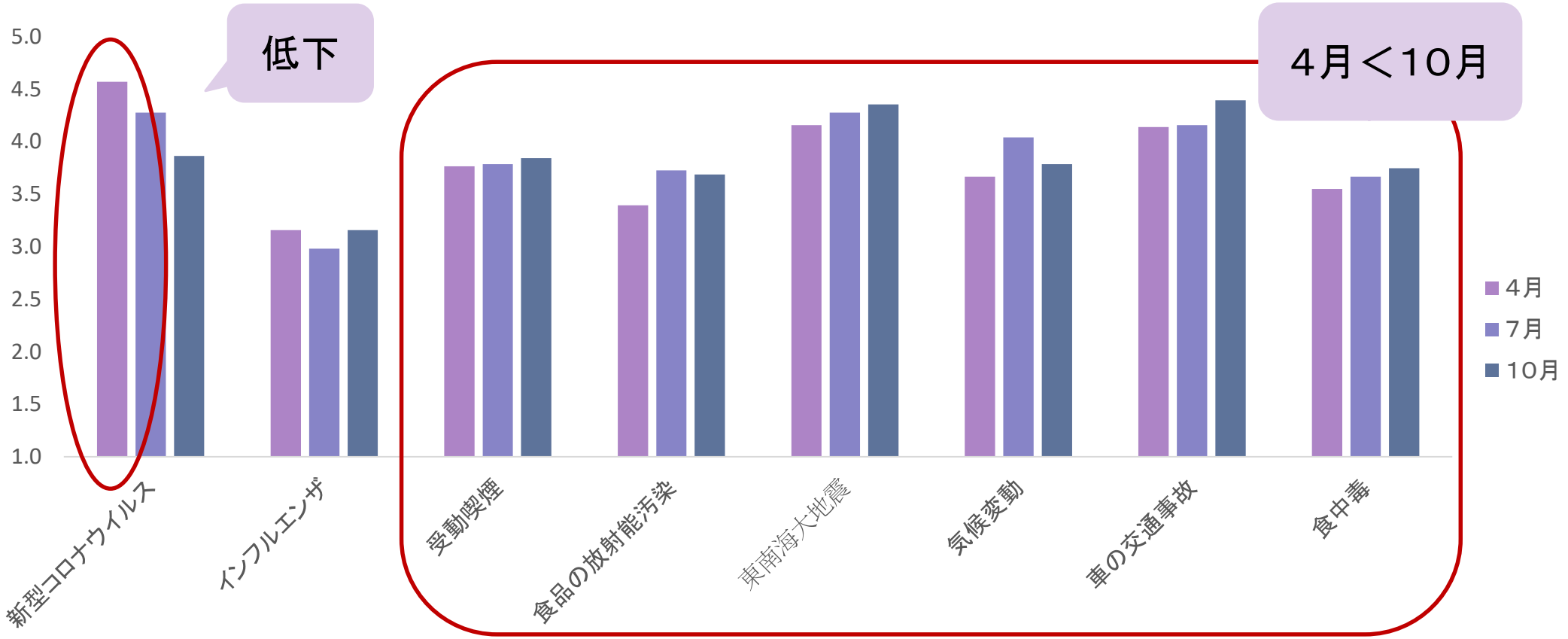
【質問紙構成】

・属性
・様々な危険に対するリスク認知
・新型コロナウイルスに対するリスク認知
・知識
・感染予防行動
・不安感情
・楽観・悲観性尺度
・マスメディアの利用頻度
・最も利用頻度の高いマスメディア
・マスメディアの報道による感情飽和
・自由記述

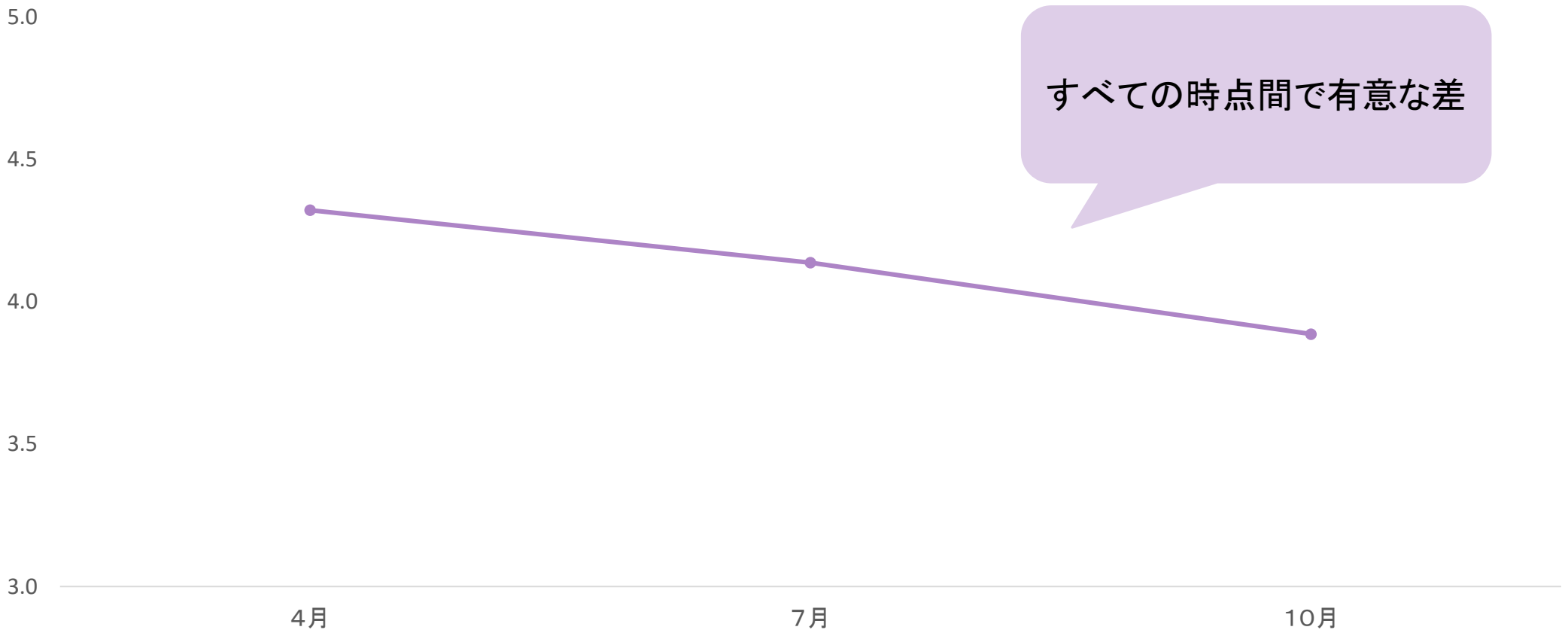
結果①　リスク認知



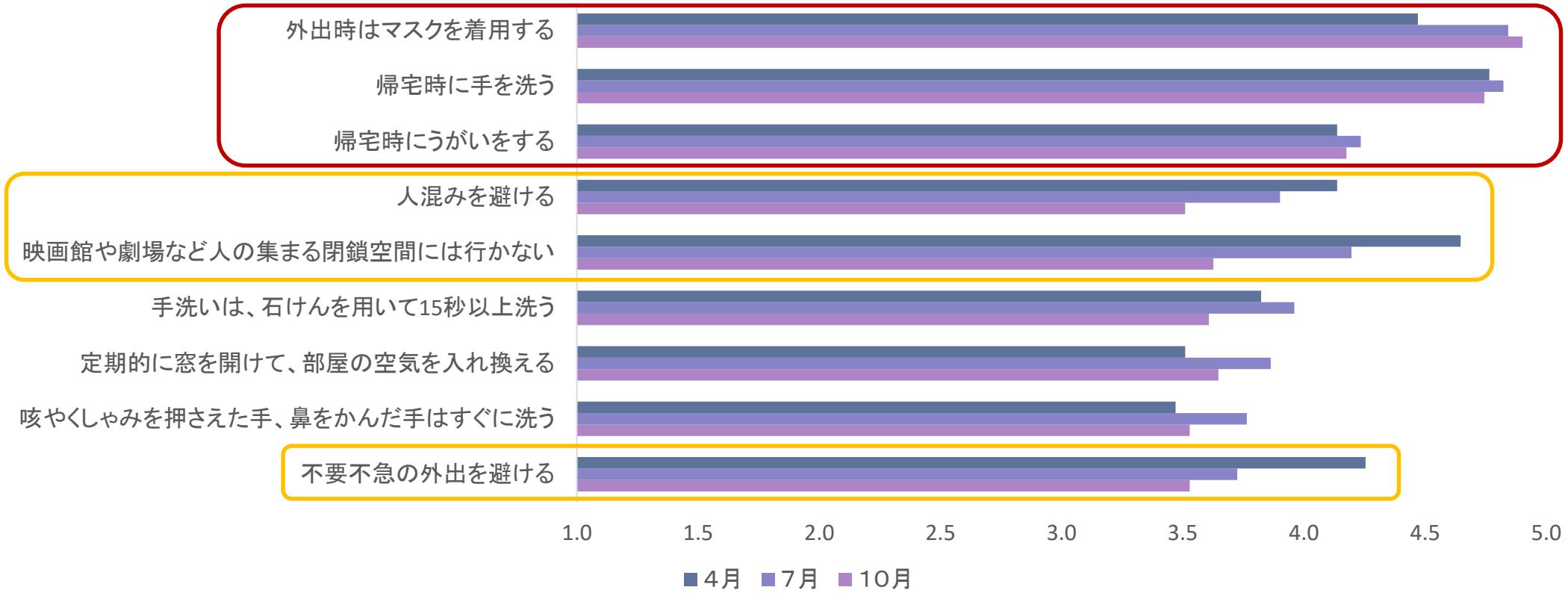
結果②　様々な危険に対するリスク認知



結果③　不安感情



結果④　感染予防行動


外出時はマスクを着用する
帰宅時に手を洗う
帰宅時にうがいをする
人混みを避ける
映画館や劇場など人の集まる閉鎖空間には行かない
手洗いは、石けんを用いて15秒以上洗う
定期的に窓を開けて、部屋の空気を入れ換える
咳やくしゃみを押さえた手、鼻をかんだ手はすぐに洗う
不要不急の外出を避ける
1.0
1.5
2.0
2.5
3.0
3.5
4.0
4.5
5.0
4月
7月
10月

考察①

【リスク認知】

◆大学生は新型コロナウイルスに対してリスクを高く認知している

◆時間の経過とともにわずかに低下

⇒今後さらに低下する可能性

【不安感情】

◆長期間にわたって不安を感じている

⇒こうした不安がストレスに

考察②

【感染予防行動】

◆基本的な感染対策は10月も変わらず行われている

⇒「新しい生活様式」が定着

◆行動制限に関する項目は時間の経過とともに緩和

⇒第3波の到来、感染拡大を加速

ご清聴ありがとうございました